

今週の株式相場見通し

* 日経平均 19,200~20,000円 TOPIX 1,570~1,640

* 期待材料 業績見通しの改善 企業統治改革 円安

* 不安材料 北朝鮮情勢 トランプリスク顕在化 中東情勢 円高

日本経済新聞は、3ヵ月毎に集計している3月期決算企業の四半期業績及び通期業績予想を8月16日の朝刊に掲載している。同集計によると、全産業の第1四半期(1Q)は前年比で23.8%経常増益、33.5%純利増益と好調な決算になっている。1Qの純利益ベースにおいては、全体の68%に当たる企業が増益であり増益企業の比率は同期間として過去最高、全体の3割弱に当たる企業が最高益を更新したとしている。また、通期予想としては同6.6%経常増益、13.6%純利増益であり、2期連続で過去最高純利益の更新予想となっている。同集計を基に計算すると、通期予想に対する1Q実績の進捗率は経常利益で26.7%(前年同期は23.0%)、純利益で27.7%(同23.6%)となっている。しかしながら、株式市場において好業績やバリュエーション面での割安感が意識される一方で、北朝鮮情勢や欧米の金融政策変更に関する不透明感が上値追いの抑制要因となっている。今週はこれらリスク要因を見極めるうえで重要なイベントが控えている。24日から米国のジャクソンホールで経済問題に関する会議が開催される。同会議でFRBやECBによる今後の金融政策に関するコメントが注目されている。また、21日からは北朝鮮が強く反発している米韓合同軍事演習が始まる。さらに25日は北朝鮮の先軍節となっている。北朝鮮は米韓合同軍事演習や記念日に合わせて、核実験や弾道ミサイルの発射等の軍事的挑発行為を行うケースが多く注目される。一方で、14日のウォール・ストリート・ジャーナル紙への米国防長官と国務長官との連名による寄稿や15日の朝鮮中央通信が報じた金正恩朝鮮労働党委員長のコメントからは、緊張緩和への機運も高まりつつある様子が窺える。仮に欧米の金融政策を巡る先行き不透明感が解消され、米朝間で対話解決へ向けた取り組みが進展するならば、膠着感の強い相場展開が長期間継続したこともあり、バリュエーション修正を主因とした株価急騰劇も想定される。(8月17日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
8/21 (月)	7月主要コンビニ売上高 国際光学委員会総会(～25日)	米韓合同軍事演習(～31日) [露]自動車部品関連展示会(～24日)
22(火)	ハニーズHD(2792)株主総会	[独]8月ZEW調査(18:00)
23(水)	8月日経日本製造業PMI(9:30) エンディング産業展2017(～25日) サッカー ACL 決勝トーナメント準々決勝第1戦 川崎×浦和	[欧]8月ユーロ圏製造業PMI(17:00) [米]7月新築住宅販売件数(23:00) サムスン電子 新型スマホ「ギャラクシーノート8」公開
24(木)	6月景気動向指数改定値 日本進化学会大会(～26日)	[米]7月中古住宅販売件数(23:00) [米]ジャクソンホール会議(～26日)
25(金)	7月全国CPI(8:30) 日経IR投資フェア2017(～26日) ジャパン建材フェア(～26日)	[独]8月IFO企業景況感指数(17:00) [米]7月耐久財受注(21:30) 北朝鮮 先軍節
26(土)	日本テレビ系24時間テレビ(～27日)	ビューティーEXPO オーストラリア(～27日)
27(日)	茨城県知事選挙 平成29年度富士総合火力演習	マプト国際見本市(～9月3日) ニュージーランド春季ギフト展示会(～29日)

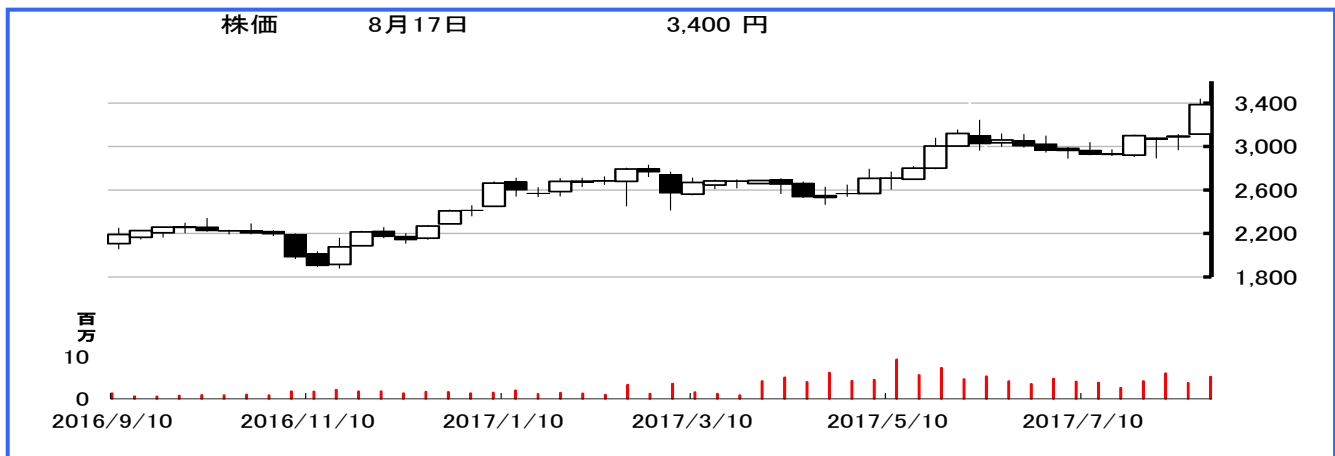
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

ポーラ・オルビス HD (4927)

東証1部



	15年12月期 (百万円) 前年比		16年12月期 (百万円) 前年比		17年12月期(予) (百万円) 前年比		株価(8/17)	3,400 円
売上高	214,788	8.4%	218,482	1.7%	236,000	8.0%	業種	化学
営業利益	22,511	27.3%	26,909	19.5%	36,500	35.6%	売買単位	100 株
経常利益	22,359	17.3%	27,191	21.6%	36,500	34.2%	PER(予想)	31.6 倍
当期純利益	14,095	35.8%	17,447	23.8%	23,800	36.4%	PBR(実績)	3.9 倍
EPS(円)	63.7		78.9		107.6		ROE(実績)	9.5 %
配当金(円)	37.5		50.0		55.0		配当利回り(予想)	1.6 %
							担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

基幹ブランドのPOLA、ORBIS、海外ブランドのJurlique、H2O+、育成ブランドのTHREE、DECENCIAなど多様な価格帯、ユーザーのニーズに合わせた化粧品ブランドを展開。17年12月期上期のビューティーケア事業のブランド別売上構成比はPOLAが63.6%、ORBISが24.4%、Jurliqueが4.7%、H2O+が1.0%、育成ブランドが6.3%になっている。

上期決算は前年同期比9.7%増収、72.4%営業増益となり、売上、利益ともに過去最高を更新。しわを改善する効果のある美容液「リンクルショット メディカル セラム(以下、リンクル)」の2Q売上は27億円となり、1Qの60億円から減速したが会社計画は超過。主要美容雑誌で上半期ベストコスメを多数受賞するなど評価が高く、百貨店での新規顧客獲得が進んでいる。他化粧品との食い合いが想定を下回り、B.Aのローションやホワイトショットなど高価格品へのクロスセルも進んだことで、POLAの2Q営業利益は92.64億円になり、「リンクル」の販売が好調だった1Qの営業利益67.94億円を超過。育成ブランドでも、「THREE」はメイク品好調や新規出店が貢献し、新規顧客が増え前年同期比35.9%増収。「DECENCIA」も主力カテゴリーが好調で約40%増収となった。

「リンクル」を入りに資金力があり美容への関心が高い優良顧客の獲得が進んでおり、稼ぐ力が着実に上昇。「リンクル」は2年間対面で販売することが厚生労働省から義務付けられているが、19年からネット販売、海外展開が可能になるため、ローションやパックなど応用商品の開発を進めており、一段の販売拡大が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(8/17) 売買単位	コメント
ネクソン (3659) 東証1部 2,706円 100株	上期決算は前年同期比27.4%増収、228.1%営業増益。中国の「アラド戦記」が1Qからの好調を維持し、2Qの中国売上は前年同期比33.1%増加。9周年アップデートが好評で新キャラやアバターなどアイテム販売が好調。顧客単価、月間ユーザー数、課金ユーザー数がいずれも上昇・拡大しており、売上規模が一段階上のレベルに向上している。韓国、日本、北米、欧州など、中国以外の地域でも売上が伸びており、3Qも増収増益が続く見込み。中国の「アラド戦記」は夏季アップデート、国慶節アップデートを実施予定。(松本 直志)
住友化学 (4005) 東証1部 660円 1,000株	1Q決算は、メチオニン市況の改善の遅れ及びTV用偏光板の低迷の両影響を受けたものの、石化系事業の市況改善効果、北米での医薬品ラツータの拡販、セパレータの生産能力拡充により前年比11.4%増収、48.6%営業増益で着地。2Qにかけては、メチオニンを含む健康・農業関連事業セグメントの下ブレが見込まれるが、医薬品、石油化学、エネルギー・機能材料セグメントが好調に推移しており、期初計画比で上ブレ着地が見込まれる。(多功 毅)
三菱ケミカル HD (4188) 東証1部 955.5円 100株	1Q決算は石化系製品群が総じて高スプレッドを享受したが、中でもトップシェアを有するMMAが需給逼迫を受けて高い伸びを遂げており、全社で前年同期比13.0%増収、IFRS決算において実態ベースの利益を示すコア営業利益で35.2%増益の着地。今回は期初公表計画を据え置いているが、会社側もケミカルズセグメントに属するMMAや機能商品セグメントを中心に上期計画の上ブレ着地を想定している。(多功 毅)
IBJ (6071) 東証1部 751円 100株	旅行会社などのM&A効果で、上期決算は前年同期比83.6%増収。利益率の高い結婚相談所と加盟店の結婚相談所へシステム提供を行うコーポレート事業が伸び、前年同期比24.2%営業増益。結婚相談所は、婚活パーティーに参加した条件の良い男性の入会を促進させ、成婚者数増加、中途退会の減少が進み売上が拡大。婚活イベント事業も出店、増床効果、サイトリニューアル実施により動員数が過去最高を更新。婚活サイトは競争激化により苦戦しているが、サイトリニューアルを実施し売上反転を目指す方針。(松本 直志)
レーザーテック (6920) 東証1部 2,061円 100株	17年6月期決算は前年同期比13.6%増収、12.0%営業増益、受注は66.0%増、受注残は78.8%増となり、売上、利益、受注の全てで過去最高額を更新。半導体マスク欠陥検査装置が好調で売上、受注増をけん引。今期は前年同期比20.9%増収、0.8%営業増益。研究開発費増で利益の伸びは小幅になるが、半導体マスク欠陥検査装置の売上が増加する計画。受注はEUV関連の新製品の大口受注を見込み前年同期比57.4%増、受注残は104.1%増の計画。(松本 直志)
ホンダ (7267) 東証1部 3,043円 100株	1Q決算は、北米での販売台数の減少や乗用車系車種での生産調整の影響で減益決算となっているが、好調な二輪車販売や日本やアジアでの堅調な四輪車販売、想定比での円安推移等の効果により計画対比では好調な決算。今回、1Qの為替レートが想定に対して円安で推移したことを主因に、通期営業利益計画を上方修正。北米の市場環境はリスク要因だが、為替レートが保守的な前提であることやアコード投入効果等をふまえると、修正計画達成の確度は高いものと思われる。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%（ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室